

ボーイスカウト横浜第8団 第72期夏期キャンプ 感染症・熱中症対策指針

ボーイスカウト横浜第8団の第72期夏期キャンプにおける感染症・熱中症対策については、下記の通りとします。

【予防】

1. 屋内における活動・生活時は、マスクの着用を原則とします。（就寝時を除きます。）
2. 屋内への入室時、飲食の前、トイレ入室後などにおける手洗いまたはアルコール消毒を励行します。
3. 起床時と就寝前に、検温を行います。
4. 屋外におけるマスクの着用については、下記の場合には着用することとし、それ以外の場合は熱中症予防の観点から原則不要とします。
 - 1) 野外炊事、配膳時
 - 2) 対面での会話・近接状態での対話が必要となる場合
 - 3) その他、各隊指導者がマスクの着用が必要と判断した場合
5. 参加者には、参加1週間前からの検温を実施してください。（所定の報告書を参加当日朝に各隊責任者に提出してください。当日提出できない場合は、参加を謝絶する場合があります。）
6. 次の場合には、参加を許可しないものとします。
 - a. 参加する本人が以下の場合
 - ①参加当日、平熱より1度以上の発熱が認められる場合
 - ②参加当日、平熱より0.5度以上の発熱が認められる場合（キャンプ参加を希望する場合は、翌日以降に、平熱になったことを確認の上で、中途参加をすることを認めます。）
 - ③濃厚接触者である場合
 - b.同居者に37.5度以上の発熱がある場合
7. キャンプ中の検査のために、新型コロナ抗原検査キットを団として確保します。

【発熱者の対応】

1. 団救護所として、カブ隊日程にあわせて8人用コテージ1棟・6人用コテージ2棟を確保します。
2. 次の場合には団にて新型コロナ抗原検査キットを用いた検査を実施します。
 - ・平熱より0.5度以上の発熱（10分程度の間隔を置いて3度検温しすべてにおいて平熱より0.5度以上の発熱）がある場合
 - ・平熱より1度以上の発熱がある場合
3. 上記の抗原検査によって新型コロナ「陽性」となった場合は、8人用コテージでの隔離療養とし、経過を観察の上、以下の処置をとります。
 - ・保護者に連絡の上、帰宅を要請します。
 - ・帰宅が不可能な場合や容体が重くなった場合は、現地保健所に連絡の上、その指示に従うものとします。

・濃厚接触者の判定、隔離は行いません。

4. 前記 1 の抗原検査によって新型コロナ「陰性」となった場合は、8人用コテージでの隔離療養とし、経過を観察の上、救急搬送を含め必要な処置をとります。

【その他】

その他、必要に応じて現地医療体制での救急搬送を依頼することがあります。

本指針は 2022 年 8 月 10 日の団委員会の決定により有効となります。